



ラスなど約120種類のハーブが植えられている美術館横のハーブ園ではハーブの摘み取りやハーブ園スケッチが行われ、訪れた人々はたくさんハーブを観賞しながらあふれる香りを楽しんでいました。また、会場内ではハーブカフェやハーブ苗、ハーブグッズの販売のほか新鮮野菜やうどん、焼き鳥などのバザーも行われ、多くの来場者でにぎわっていました。



**みすみハーブを愉しむ日  
あふれる香りを満喫**

6月15日、三隅中湯免の香月泰男美術館周辺で「三隅ハーブを愉しむ日」が開催されました。ラベンダーやタイム、レモング



**南アフリカからふるさとへ里帰り  
川尻捕鯨絵図贈呈式**

6月7日、くじら資料館で「川尻捕鯨絵図」の贈呈式が行われました。

この「川尻捕鯨絵図」は、油谷川尻地区で行われていた明治時代の捕鯨の様子を色紙に描いたもので、終戦後に海外へ持ち出され、南アフリカに渡っていました。その後日本鯨類研究所を経由してこのほど長門へ戻ってきました。式では、同研究所顧問の大隅清治さんが「貴重な文化遺産であり、歴史的価値も高い。北浦捕鯨研究の今後の発展に役立ててほしい」とあいさつ。松林市長は「捕鯨の様子がかげえる大変貴重な資料。大切に保管したい」とお礼を述べました。くじら資料館に寄贈された絵図は全部で16点。絵図は同館に展示され、一般公開される予定です。



**消えそうな命をつなぐ  
AED19台の贈呈式**

6月20日、AED（自動体外助細動器）の贈呈式が日置小学校で行われました。これはヤマネ鉄工建設株式会社

が、市内の全小中学校と金子みすゞ記念館、そして体育協会に計19台の寄附を申し出て実現したものです。贈呈式では代表取締役の山根正寛さんが児童に「機械に描いてあるハートはやさしさを意味しています。みなさんも自分たちができるやさしさを見つけて行動してください」と述べました。その後、松林市長が山根さんに感謝状を贈りお礼の言葉を述べました。



**だ円のボールで交流の輪  
長門市ラグビー祭**

5月25日、俄山多目的交流広場で「第4回長門市ラグビー祭」が開催され、小学生から大人まで38チーム約300人が参加しました。

長門市ラグビーフットボール協会による講習の後、小学生4・5年の部、6年の部、一般男子の部・女子の部に分かれてゲーム開始。選手達は腰に付けた2本のタグを取ったり取られたりしながらだ円のボールを持ってコートに駆け回っていました。ラグビーはタックルがなく、危険性が低いため性別や年齢、足の遅い早いに関係なく楽しめるスポーツとして人気があります。この日は関門市や下松市、岡山市など市外からの参加も多数あり、会場は大いに盛り上がりました。



**ビンゴ当たった！  
ほたる祭りin俄山**

6月14日、俄山頭振川みどりの砂防公園駐車をメイン会場に、手づくりほたる祭りin俄山が行われました。

祭は恒例のビンゴゲームでスタートしました。今年も豪華な景品がたくさん用意され、番号が読み上げられるたびに大きな歓声が上がっていました。日が暮れると、無料のシャトルバスが運行され、親子連れなどがホテル観賞に向いました。観賞会場となった七重河川プールでは、たくさんのお客さんが飛び交い、参加者は、時のたつのも忘れて観賞していました。

